

令和2年度 福祉保健活動拠点事業報告書

施設名

横浜市保土ヶ谷区福祉保健活動拠点

事業計画

1 場の提供について

(1)場の提供を通じた関係性の構築・利用団体支援

・コロナ禍により団体の活動が制限され、積極的な交流はできなかった。一方で、他施設で印刷ができなくなった団体からの印刷機使用のニーズがあり、拠点の説明をすることで新規団体利用登録につなげることができた。

・一部の団体とはコロナ禍での活動再開の相談等を通して、コロナ禍以前には無かった会話の機会が生まれた。これにより利用者の活動の理解や活動報告を話題としたコミュニケーションを取るようになったことで新たな信頼関係を築くことができた。

(2)拠点の利用促進に関すること

・ホームページでの予約確認ができるよう進めているが、当初想定以上に安定したサービスの提供と事務処理ミスを防ぐ仕組みづくりが難航しており、まだサービス提供できていない。

具体的には紙からデータへ移行するにあたり、誤ったデータの修正を防ぐ方法などデータ特有のミス防止の仕組みづくりができていない。

・SNS や HP でリアルタイムに情報発信を行ったことでコロナ下での利用時間変更等について周知し利用促進につなげることができた。

・小部屋の活用について周知し、保護司が対象者との面談等に使用するようになったが、コロナ禍により利用制限があったため、件数的な効果は未確認。

(3)拠点のサービスの向上に関すること

・コロナ禍により集合しての利用者懇談会は行わず、書面で利用規約の説明やロッカー抽選を行うこととした。当初懇談会と同時に行う予定だった避難訓練は実施できないが、館内の消火器や避難経路等の説明文書を送付し周知を行うことで拠点利用者の防災意識を高めた。

・コロナ禍により団体に急ぎ連絡しなければならない事態が増えた。年度内に全団体にメールアドレスの設定をしていただき、メールでの連絡ができるように進めることで団体との連絡をより円滑にした。

・以前より要望のあった wi-fi の設置が完了しネットワーク環境が整ったため、利用者の活動形態を広げることができた。

・一部の団体とはコロナ禍での活動再開の相談等を通して、活動の認知や活動報告を受けようになったことでコロナ禍以前には無かった信頼関係を築くことができた。

・聴覚障害者団体が多く利用する夜間の拠点担当者が簡単な手話のあいさつを習得し、利用団体に好評となっている。

(4)利用調整会議等の開催

・コロナ禍により集合しての利用者懇談会とロッカー抽選会は行わず、書面で行うこととした。団体間の交流は行えないが、コロナ禍での各団体の困りごとや工夫などについて書面で聞き取りを行い、今後の参考とする。

2 ボランティア業務

(1)ボランティアに関する情報収集、分析、計画立案

隔年実施している登録ボランティア情報の更新を行い、登録ボランティアの活動状況を把握し、日頃の活動へお礼を伝え、現況を伺うことで半数以上から返答を得ることができた。

また、以前より継続的に依頼のあった17施設にコロナ禍での施設の状況と、必要なボランティア活動についてニーズ調査を行ったところ、施設内の装飾品とレクリエーションの不足が挙げられた。

コロナ禍により、施設を訪問する特技ボランティアが活動できなくなったため、訪問せずに行える活動として、上記ニーズを受けて季節の壁飾りや音楽のレクDVDを作成し届ける活動を実施し、大変好評だった。

(2)ボランティアに関する広報、情報提供

・登録ボランティアへ、コロナ禍での新たな活動について広報紙を発行。また、タウンニュース10/29号にて、施設飾りボランティア募集記事を掲載。記事を見た16名が活動に参加した。

・フェイスブックへの団体紹介はコロナ禍により行えなかったが、感染症対策による拠点の利用方法についてフェイスブックやホームページへ掲載し、周知を図った。問い合わせや来所をせず見ることのできるウェブ掲載はインターネットから情報を得ている団体に好評だった。

(ボラセンだより年4回1220部発行)

・レクリエーション動画を2本(三味線、体操)作成し、7施設に配布。年度内にピアノ演奏の動画も撮影を行った。

・施設飾り、動画を送付した10施設中5施設から職員からの寄せ書きや利用者直筆のお礼状をいただくなど、好評だった。

・2月発行の区社協広報紙で上記報告とボランティア募集を周知。
(社協ほどがや8万4千部発行)

(3)ボランティアに関する相談、紹介

・コロナ禍により全般的に相談・コーディネートが低調で当初予定通りの活動ができなかったが、コロナ禍におけるボランティア活動の方向性について、17施設と6つの学校へアンケートを実施。回答内容は該当するボランティアへ伝え、双方の不安を軽減した。

・全盲の方からの視覚支援ボランティア依頼の際には、専門ボランティア団体との連絡調整を行いつつ、身近な地域の活動者との関係づくりを視野に入れ、地域担当職員を通じてケアプラザや民生委員に情報提供を行い、ご近所での見守りにつながった。今後も依頼を地区担当職員へ情報共有することで、地域住民とともに地域福祉の向上について検討していく。

* ボランティア依頼状況

分類		依頼件数	対応件数	調整中	調整つかず	取り下げ	対応人数	調整数
児童	単発	1	1	0	0	0	1	1
	継続	2	2	0	0	0	3	14
障がい	単発	2	1	1	0	0	0	8
	継続	34	25	9	0	0	45	133
高齢者	単発	7	3	0	0	4	23	51
	継続	20	10	9	1	0	38	50
外国人	単発	0	0	0	0	0	0	0
	継続	0	0	0	0	0	0	0
限定せず	単発	0	0	0	0	0	0	0
	継続	2	2	0	0	0	5	9
その他	単発	0	0	0	0	0	0	0
	継続	2	2	0	0	0	4	10
合計	単発	10	5	1	0	4	24	60
	継続	60	41	18	1	0	95	216
	合計	70	46	19	1	4	119	276

(4) ボランティアに関する育成・支援・講座開催

・学校や地域からの福祉教育の依頼はコロナにより減少したが、依頼があった際にはコロナ対策をふまえた講座内容を先生とともに検討した。1クラスのみ体験を組み込んだ座学を実施し、その様子をカメラで全校生徒へ放送するなど、工夫した授業を行うことができた。(6校、12コマ、1972人)福祉教育ニュース(広報:400部を区内小中学校へ送付)

・今年度は集客型講座ではなく、「自宅でできるボランティア活動」として、施設飾りの材料を配布し制作を依頼するボランティア講座を実施。2日間のみ少人数であつまって制作する日程を設け、希望するボランティアの方の参加を呼びかけ16名の参加を得ることができた。

・区社協会員のうち、ボランティア関係団体の分科会を開催し、コロナ禍における活動状況の情報共有や、オンラインの導入状況について情報交換ができた。次回も開催したいと好評だった。

・登録ボランティアの更新作業を実施し、活動状況や更新について確認を行った。

3 他の関連組織とのネットワーク

(1)関連組織及び地域との連携

・拠点利用団体や外部講師の協力のもと、6つの小中学校・高校での福祉教育を実施。オンライン等コロナ禍の工夫を行って実施した。

・星川地域ケアプラザとボランティア講座の開催情報を共有し、連携をとりながらボランティア業務を行った。また、毎年全館で開催している「ほっしいーのわいわいフェスティバル」の開催については、規模を縮小し近隣施設や「かるがも」館内施設の情報掲示に協力した。

(2)地域の福祉保健課題への理解と協力

・区民まつりは中止、社会福祉大会は規模を縮小して実施となり、今年度は拠点利用団体へ地域福祉活動の理解をいただく場を提供することが困難だったが、施設飾りボランティアに拠点利用団体が参加することで、区内福祉施設の現状を知っていただくことができた。

・各地域での会議の参加やボランティア・市民活動分科会にて、ボランティア団体のコロナ禍における活動の現状を把握。活動の機会のないボランティア団体へ施設飾り・動画撮影を提案し、ボランティア事業を継続して運営した。

4 その他

(1)職員体制、育成

・職員の資質と接遇の向上のために、職員全体会議を実施。コンプライアンス、危機対応、個人情報保護、接遇・人権研修を実施した。接遇と人権研修についてはそれぞれ市社協で実施する外部講師による研修に職員を派遣し伝達研修を行った。

・かるがも全体で実施する避難訓練に参加し、消火器・消火栓による放水等の訓練も行ったほか、今年度は避難確保計画（洪水）の読み合わせも行った。

・市社協作成の職員育成計画に基づく人事考課制度や新人育成リーダー制度などにより定期面談等を実施し職員個人の能力に応じたスキルアップを図った。

5 施設の適正な管理・運営について

ア 施設の維持管理について

<開館時間>

年末年始（12月29日～1月3日）を除く 9:00～21:00

（日曜・祝日は 9:00～17:00）

※新型コロナウイルス感染症対応のため、区役所通知に基づき開館時間及び利用定員を調整した。

<建物・設備の保守点検、小破修繕>

建物全体で各業者と契約し、費用は協定書をもとに按分した。

- ・害虫駆除 ・昇降機保守点検 ・法定建築設備点検
- ・冷暖房、空調設備保守点検
- ・日常巡視点検 ・自家用電気工作物保守点検

<清掃業務について>

建物全体で各業者と契約し、費用は協定書をもとに按分した。

- ・日常清掃 ・定期清掃 ・緑地整備 ・貯水槽清掃

<警備業務について>

建物全体で業者と契約し、費用は協定書をもとに按分した。

- ・機械警備

<植栽・樹木等について>

建物全体で業者と契約し、費用は協定書をもとに按分した。

- ・緑地整備に含み実施

イ 苦情受付体制について

<苦情への対応手順>

苦情解決規則に則った対応を行った。

苦情受付担当者および苦情解決責任者を設置し、苦情があった場合、職場内で共有した後、市社協に報告を行っている。

<苦情解決の仕組みに対する市民への周知方法>

苦情受付についての案内および苦情受付担当者、苦情解決責任者を示し、掲示を拠点内に行うとともに、苦情対応状況については「保土ヶ谷区社会福祉協議会事業報告」およびホームページにて周知した。

また区社会福祉協議会としてご意見箱を設置し、拠点運営事業を含めた区社協事業への意見の収集を行った。

ウ 緊急時（災害・事件・事故等）の体制及び対応について

<連絡体制>

危機管理マニュアルおよび緊急連絡網による職員間・関係機関への連絡を行った。

メールによる安否確認訓練、市ボランティアセンターとの無線による連絡訓練等

<職員の役割分担>

危機管理マニュアルにおいて各職員の災害発生時の役割分担（初期消火・誘導・救護）を定めるとともに、同マニュアルに則り行動した。

<地域や関係機関との連携体制>

危機管理マニュアルの活用を図り、関係機関への連絡・通報を迅速に行えるよう徹底した。建物内の他施設とともに年2回の防災訓練を行った。

エ 個人情報保護の体制及び取組について

全職員を対象として、個人情報に関する研修を行い、意識啓発を行った。個人情報を扱う発送や事務作業については二人以上で取扱い、特に個人情報に関するファイルは鍵のかかるロッカーで保管することを徹底した。

オ 環境への配慮及び取組について

<ゴミの発生抑制に関する取組み>

種類ごとの分別を徹底し、ごみの抑制に取り組んだ。施設利用者へゴミの持ち帰りを促す掲示を行った。

<再利用・再使用に関する取組み>

裏紙の再利用および再利用可能な食器等の使用を進め、拠点内・事務所内にて発生するゴミの抑制を図った。

<リサイクルに関する取組み>

ルート回収を活用するとともに、ゴミの分別を徹底した。

令和2年度 横浜市保土ヶ谷区福祉保健活動拠点 収支報告書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	15,628,500	247,658	15,876,158	15,876,158	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）	0	0	0	0	0	
雑入	320,000	0	320,000	214,941	105,059	
印刷代	320,000	0	320,000	214,941	105,059	拠点印刷機・複写機利用料
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
収入合計	15,948,500	247,658	16,196,158	16,091,099	105,059	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	9,137,000	0	9,137,000	8,666,364	470,636	
給与・賃金	8,336,500	0	8,336,500	7,382,613	953,887	常勤・非常勤人件費
社会保険料	312,500	0	312,500	618,103	△ 305,603	常勤・非常勤社会保険料
通勤手当	173,000	0	173,000	441,748	△ 268,748	常勤・非常勤通勤手当
健康診断費	9,000	0	9,000	6,600	2,400	常勤健康診断費
勤労者福祉共済掛金	6,000	0	6,000	6,000	0	常勤福祉共済金
退職給付引当金繰入額	300,000	0	300,000	211,300	88,700	常勤退職給付積立金
事務費	1,291,000	0	1,291,000	527,960	763,040	
旅費	12,000	0	12,000	0	12,000	
消耗品費	312,000	0	312,000	0	312,000	
会議賄い費	0	0	0	0	0	
印刷製本費	54,000	0	54,000	0	54,000	
通信費	207,000	0	207,000	136,935	70,065	ネット料金(23,320)郵便費 (90,483+9,627)NHK受信料 (13,505)
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
備品購入費	0	0	0	0	0	
図書購入費	0	0	0	0	0	
施設賠償責任保険	17,000	0	17,000	9,540	7,460	施設賠償責任保険
職員等研修費	20,000	0	20,000	9,444	10,556	職員研修交通費 (5,944+3,500)
振込手数料	0	0	0	0	0	
リース料	247,000	0	247,000	268,003	△ 21,003	印刷機 (18,216+17,952)・複写機 (178,848)・A E D (52,987)
手数料	0	0	0	0	0	
地域協力費	0	0	0	0	0	
その他	422,000	0	422,000	104,038	317,962	システム利用料
事業費	963,000	0	963,000	1,106,876	△ 143,876	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	963,000	0	963,000	1,106,876	△ 143,876	
管理費	3,995,000	165,598	4,160,598	4,332,316	△ 171,718	
光熱水費	2,060,000	0	2,060,000	1,826,411	233,589	電気1,417,213 ガス493,595 水道263,490
清掃費	840,000	0	840,000	884,865	△ 44,865	建物管理業務委託費
修繕費	150,000	165,598	315,598	315,598	0	
機械警備費	219,000	0	219,000	218,972	28	機械警備保守
設備保全費	726,000	0	726,000	613,947	112,053	
空調衛生設備保守	345,000	0	345,000	348,733	△ 3,733	冷温水保守 (338,849)、貯水槽清掃 (9,884)
消防設備保守	0	0	0	39,600	△ 39,600	防火対象物点検
電気設備保守	60,000	0	60,000	53,668	6,332	自家用電気工作物保守
害虫駆除清掃保守	30,000	0	30,000	32,694	△ 2,694	衛生害虫駆除 (16,347*2回)
駐車場設備保全費	0	0	0	0	0	
その他保全費	291,000	0	291,000	139,252	151,748	昇降機保守 (121,652) +シャッター (17,600)
共益費	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	472,523	△ 472,523	印刷機保守料 (81,400)、複写機保守料 (32,759)留守番電話設定 (26,400)物品廃棄 (96,800)自家発電負荷試験 (48,660)社協ほど がや按分 (145,860)緑地整備(20,644)事務所内 複写機保守料 (20,000)
公租公課	562,500	0	562,500	805,054	△ 242,554	
事業所税	0	0	0	0	0	
消費税	562,500	0	562,500	804,554	△ 242,054	
印紙税	0	0	0	500	△ 500	
その他	0	0	0	0	0	
その他	0	82,060	82,060	82,060	0	wi-fi整備費(追加配布)
支出合計	15,948,500	247,658	16,196,158	15,520,630	675,528	
差引	0	0	0	570,469	△ 570,469	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	963,000	0	963,000	1,106,876	△ 143,876	
自主事業 収支	△ 963,000	0	△ 963,000	△ 1,106,876	143,876	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合があります。